



昨年の総会に出席された恩師、役員と幹事学年の皆さん

西尾高校創立100周年記念誌 資料募集

西尾高校創立100周年実行委員長 杉田明弘

平成30年に本校が創立100周年を迎えるにあたって、記念誌を発刊することになりました。つきましては、ご家庭で本校に関わる資料、文献、写真などございましたら、お寄せください。

西尾高校は平成30年に創立100周年を迎えます！
愛知県立西尾高等学校同窓会

〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2
TEL 0563-57-2270 FAX 0563-54-6963
(担当) 図書・研修部 牧原

平成28年度 西高同窓会総会のご案内

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 1 日 時 | 8月6日(土) 午後2時より |
| 2 会 場 | 吉良町宮崎 三河湾リゾートリンクス |
| 3 幹事学年 | 高校29回生（昭和52年卒）
高校46回生（平成6年卒） |
| 4 行 事 | (1)総会 (2)記念講演
(3)懇親パーティー（会費5,000円） |

5 記念講演 1級音響技術者
ステージヴァンガード代表 犬塚裕道氏
演題「音響デザイン考と雑感」

・吉良吉田駅より送迎あり。西蒲線存続のために、なるべく西蒲線をご利用下さい。

なお、幹事学年以外で懇親パーティーに参加希望の方は
同窓会事務局(新家正之教諭)へ TEL 0563-57-2270

旧中学、高女卒の方は無料ご招待いたします。

創立100周年に向けて

● ごあいさつ ●

同窓会長 杉田明弘



同窓会長を拝命して4年目、第22回(昭和45年卒業)の杉田明弘です。皆様に後押しされ伝統ある西尾高校の同窓会運営に当たさせていただいてあります。

現役生徒諸君は、学業はもとより、スポーツ、文化活動に活躍してあられ、同窓会としては、本年も、在学中に部活動や生徒会活動で活躍した卒業生6名に同窓会賞を授与し、城奨学金を在校生2名にお渡しすることができました。

平成30年に創立100周年を迎えるにあたり、同窓会、学校、PTAの三者合同で実行委員会を発足させ、各委員会に分かれて企画の検討に入っています。今後の西尾高校の在り方を考え、「次世代を担う国内外の様々な分野で活躍することのできる優秀な人材を育成すること」を基本テーマとし、在校生と同窓生が誇りを持てる事業内容とすべく取り組んでいきます。

具体的なメイン事業としては、奨学財団を立ち上げ、西尾高校の教育活動を支援していきます。現況は後掲の奨学財団委員会からの報告をご覧下さい。第17回(昭和40年卒業)の城好彦さんは、「自分の活躍の原点である西高に恩返しを」との思いから、平成19年に1千万円を寄附され、成績優秀かつ経済的に就学困難な在学生を対象とする「城奨学金」が誕生しました。この城奨学金も



● ごあいさつ ●

校長 小野寺雄二



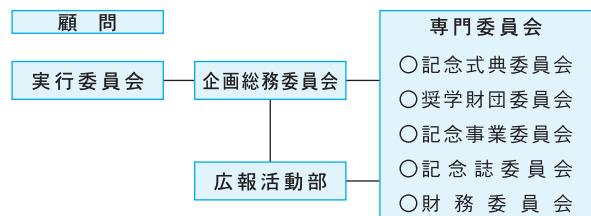
4月、熊本県・大分県で活断層型の大地震が連続して起こり、多くの尊い命が奪われました。亡くなられた方々のご冥福を改めてお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を願ってやみません。「天災は忘れた頃にやってくる」と言いますが、東日本大震災から5年、あまりにその発生頻度が多いのに驚かされます。

本校でも大地震に対する備えを再確認するとともに、生徒会長からは全校生徒に対し熊本地震被災者支援を呼

あと2年程で資金が底をつけます。志を受け継ぎ、より確かなものにしてまいります。

同窓生の皆様におかれましては、母校の発展と同窓生の活躍のため、今後ともご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

● 創立100周年実行委員会組織図 ●



● 西尾高校同窓会奨学財団設立の動き ●

奨学財団委員会 委員長 神谷研(昭和49年卒)

創立100周年の基本構想「ハードからソフトへ」「モノづくりからヒトづくりへ」を受け、西尾高校の教育活動を支援するために奨学財団を設立する運びとなりました。

この財団は、西尾高校の在学生及び卒業生で成績優秀かつ向学心を有する者に対する奨学金事業を行うことを目的とするもので、同窓生等からの寄附金を資金とし、在学中の修学資金の助成、大学進学費用の給付、在学生や卒業生の海外留学の支援を行っていくものです。

平成27年9月18日に、『一般財団法人県立西尾高等学校同窓会奨学財団』を設立、今度、より税制上の優遇措置を受けやすい公益財団法人に移行していきます。現在、募金趣意書の作成、申請書類の作成等手続が進行中です。

びかけ、募金活動を行いました。

さて、5月下旬から6月初旬にかけて、西高始まって以来、初めて海外への修学旅行(マレーシア)を実施しました。旅行費用も倍増し、保護者の皆様には多大なご負担をおかけしました。そのおかげで生徒は自らの英語力を試す機会を得て、文化や生活様式の違いに戸惑いを感じながらも一人ひとりの異文化体験を通して、自己実現につながる実りある修学旅行になったこと思います。

また2年後に迫った創立100周年に向けて、西高の伝統を継承し、これまでの教育実践に新たな取組を積み上げながら、さらに発展させていく努力をして参ります。引き続き母校生徒への応援を、よろしくお願ひいたします。

最後に、皆様方のご健勝、ご活躍と同窓会のさらなる発展を祈念して、ごあいさつといたします。

会員からのたより

碧南市沢渡町 杉浦由二（S44年卒）

定年退職後、社会との関わりを持つためにも在職中のキャリアを生かし、名古屋にて労働安全関連講習の非常勤講師をしています。受講者の中には資格を取得して再就職しようと頑張っている50歳以上の方もあられ、微力ながら応援をさせていただいています。

西尾市高畠町 高須 優（S38年卒）

登山を始めて50年、日本百名山（単独登山）を10年前に踏破し、今は300名山を目指して、年間40日位は山で過ごしています。今年1月の上高地明神池では一夜にして1mのドカ雪が積もりラッセルするのが大変でした。新緑・紅葉・雪山と変化する山を楽しんでいます。

西尾市江原町 和田（加藤）美津枝（S53年卒）

地元に生まれ、地元に嫁ぎ30数年。どっぷり西尾に浸っています。平凡に暮らしてきましたが、年を重ねるごとに西尾の良さが身に染まる様になりました。八ツ面山の桜がピンクに染まると、買い物帰りに寄り道をしてミニ花見をするというのが、最近のマイブームです。

幸田町 山崎 隆（旧中S18年卒）

卒寿を迎えました。35年の教員生活を終えてからは、カラオケとお寺参りです。在学当時は戦時下でしたがユニークな先生方が多く、お地蔵さん・直角さん・お馬さん・金ちゃん・獅子さん・ガンちゃん・一銭・ワニさん等々、あだ名をつけて呼んでいました。恩師に感謝。

西尾市永吉町 小島利元（S63年卒）

西高卒業生、野球部OBであることを誇りに、仕事、子育て、地域の活動に励んでいます。最近、野球部の試合を見に行くと、グラウンドに同級生の息子。過ぎた年月に驚くとともに元気をたくさんもらいます。そして必ず思う「俺達の時、こんなに親が熱心じゃなかつたぞ！」

西尾市上町 荒川真乃介（H4年卒）

卒業後、大学進学、他社修行及び海外赴任を経て14年前から西尾に戻り、現在は引き継いだ家業を社業へと発展すべく試行錯誤の毎日。西尾で活躍されている西高OBの皆様のお仲間に入れるよう日々精進してまいります。よろしくご指導お願い致します。

西尾市大和田町 大西（高橋）玲子（S35年卒）

卒業後55年。不動産賃貸業をしています。西高文化祭でヴァイオリンを弾いていました。今、先輩金原先生の作詞曲の地元ソング「これで行こう」を市内のコーラス部で歌って、ボケ防止を確認しています。草花をいじり他人様に迷惑をかけない人生、日々心掛けています。

アラブ首長国連邦 加藤文香（H18年卒）

私は現在、ドバイ拠点の航空会社に勤めています。10年前の西高生時代には想像もしていませんでした。大好きな家族、友人から離れての生活は未だに寂しく感じるときもありますが、世界中を飛び回り、日々新しい出会いに囲まれての仕事は6年目の今でも充実しています。

西尾市今川町 斎藤裕史（S56年卒）

父からバトンを受け継ぎ、中小企業の親父となってはや9年。まだまだ未熟な経営者ではあります、体だけは着実に熟し、すでに老眼鏡は必需品。昨年からはメタボ克服のためジム通い。何とか減量できお腹もすっきり。次は肉体改造に取り組みます。

西尾市長縄町 石原峰志（S63年卒）

私は、現在、大学の教壇に立ち、心理学や精神医学を教えています。また、西尾市史に残る寺子屋の長縄塾を継承し、僧侶でもあります。日常的に、子ども達からお年寄りまで接する事に喜びを感じます。ただ、年々、急速に弱体化する若者達に、危機感を抱かずにはいられません。

安城市和泉町 兵藤（稻垣）和子（S40年卒）

卒業して51年。在校時、農繁期には田植え等、早朝より手伝いをし、それから舗装されていない泥道を40分かけ、どんな悪天候でも自転車で通いました。現在、家庭菜園、また、庭には草花を植え、四季を楽しんでいます。おかげさまで、健康に恵まれましたことに感謝です。

西尾市寄住町 藤村 望（H3年卒）

西尾高校を卒業し20年以上がたちましたが、昨年初めて同窓会を開催する事が出来ました。多くの方々の力添えにより、素敵な会になったと思います。本当に同級生の集いは良いものだと感じました。これからも縁と輪を大切にしていきたいと思います。

西尾市須脇町 鈴木繁治（S42年卒）

年金生活に入り、丸2年経ちました。現在、西尾市水泳協会の会長をしていますが、今年の8月に「40周年記念誌」を発刊する予定です。これまで40年間、ボラ

ンティア活動を続けられた原点は、西高時代の水泳部ですばらしい仲間、先生に出会えたおかげであると感謝。

西尾市吉良町 嶋崎由紀夫 (S44年卒)

ボタン 兄は金釦の学生服、姉は三本線のセーラー服にあこがれ、私は、その兄姉の後を追い「幡豆部隊」に入りました。今、大学卒業以来続く5人の友人達と、酒を飲みながら、夜遅くまで、それこそ色々な事を語り合うことが楽しみです。こんな友人達と知り合えた、西高に感謝。

岡崎市岩津町 朝岡義弘 (S57年卒)

卒業して30余年、私立高校で教員をしています。職場の同僚にも西尾高校出身者がいます。他私学の教員で西高出身だと分かることもあり、そのときは西高祭の話や恩師の話で盛り上がります。同窓生には自由な発想の人が多いと感じます。それが伝統なのかなあと思います。

刈谷市一ツ木町 杉崎昌英 (S47年卒)

高校3年の頃は男子クラスで、あまり青春していな

かったような…。その反動という訳でもないですが、「青春18きっぷ」なんぞ買ってあちこち行ったり、あの大名古屋ビルヂングに入居している会社に再就職（短日数勤務）したりで、今も（気持ち）青春しています。

西尾市寄住町 村井（荒川）勝子 (S51年卒)

息子が寄住町で、デイサービスを経営しています。そこで月1回程書道教室のボランティアをしているのですが、熱心に取り組む利用者様方に私の方が励まされています。また、そこで働く介護スタッフの姿や笑顔に感心しつつ、自分もやさしくありたいと思っています。

西尾市吉良町 鈴木敏之 (S45年卒)

海外旅行46カ国目のポルトガルは、16世紀から現在に至る親目的な国です。ドバイで乗継ぎリスボンまで20時間余り。語学が苦手な私、わからない事とハブニングで不安もありましたが、歴史文化ワイン等現地での体験が思い出に加わりました。この先も健康で百カ国を目指します。

【OB会だより】

私の青春時代…西高演劇部

大 橋 宏 道 (昭和39年卒)

西高を卒業してはや52年…入部して半年後に一色高校体育館の柿落しが有りそのお祝い行事に参加。当時顧問をされていたのが杉浦実先生…杉浦先生は長きに渡って顧問をされていましたが、私が2年生の時逝去されました。授業を抜け出し、同級生の自転車を借りて葬儀に駆けつけた記憶が有ります。

西高演劇部には昔からOBと在校生の絆が太く、上下10年程の先輩と在校生の集いが有りました。しかしそんな絆が途切れる事態に…防犯上からでしょうか？「OBたれども無断で校内に入るべからず」と学校からお達しが出たのです。しかしそれ以後もOB同士の太い絆は今まで続いており、過去7回程のOB会開催から数十年が過ぎた平成21年6月、昔作られた手書きの名簿を頼りに久々のOB会開催の運びとなり、35名もの出席となりました。この原簿作成に至っては、72才の若さで他界された森邦雄先輩と私とで35年前に手書きしたモノ。ワープロもパソコンも無かった時代、二人で電話確認しながら手書きしたものです。今回それを元にパソコンで打ち直し製本化した経緯があります。皆さんも爺婆となり出席者の平均年齢も70才超えとなっています。

そのOB会の席上で或る先輩が「この百円札を見よ！これは当時“中部演劇コンクール”に於いて名誉ある“中部演劇連盟賞”を受賞した時にNHKから頂いた賞金の一部で、生涯僕の宝物です」と高々と皆の前に揚げられました。昭和34年頃未使用の百円札…価値ある百円札です。このOB会も回を重ねて10回程になりました。が、最近のOB会では毎年の様に一人消え二人消え…減って行くばかり…48年前のOB会では在校生も含み100名が出席。吉良町宮崎の旅館で盛大に開催されました。

4年前に開催したOB会では私が卒業したあとに顧問をされて居た小田善雄先生と私の後輩である野澤一晴君から歴代の部員名簿のデータをお借りし、無論小田先生にも来賓としてご出席頂き25名で開催する事ができました。お二人のお陰で第10期生から50期生まで218名の名簿が遂に完成したのです。OBの中には退職後にボランティア活動の一環として朗読や紙芝居等で施設訪問をしたり…現在も尚多くのOB達が活躍しています。このOB会も後期高齢者社会となり、あと何年皆さんとお会いできる事か…。



平成28年度入試概況

進路指導主事 石川邦利

平成28年度入試を振り返って

平成28年度の大学入試センター試験は、昨年に引き続き愛知教育大学会場で、3年生359名が受験しました。今回は全科目で新課程入試となり、既卒者への別問題は無くなりました。全国平均点は5教科7科目文系型で昨年から5点アップして548点(900点満点)となつた一方、5教科7科目理系型で昨年から5点ダウンして562点(900点満点)となりました。また、国語が平均点10点増と大幅易化、化学(理系)の8点減と大幅難化がありながら得点調整は実施されず、自分の得意科目の難易が出願に大きな影響を与えたと思われます。

国公立大学の合格者数は、新卒生195名、既卒生35名の計230名で、昨年度の計181名に比べて大きくその数を伸ばしました。これは過去20年間における本校の最高記録となっています。また、名古屋大学の合格者は新卒生23人、既卒生5人の計28人で、これは過去20年間における本校のタイ記録です。国公立大学は試験日が遅く、我慢強く準備を進めていく必要がありますが、その意味で本校の受験生はよく頑張ったと言えます。卒業式

後も登校して教室等で学習し、特に後期試験に多い小論文や面接の個人指導に多くの生徒が取り組んでいました。ただし、合格校の内容に関しては問題が無いとは言えません。過去5年間の合格校の比較でも、難関校を受験した生徒の数は名古屋大学を除いて減少しています。医学部医学科などの難関学科の受験者も同様です。受験した地域も中部圏に集中しており、首都圏や関西圏の私立大学の受験も、名古屋試験場がある大学に集中しています。総括すれば、国公立志向、安全志向、近郊志向であると言えるでしょう。確かに大学入試、大学進学は時間とお金がかかり、ご家族の協力も必要ですが、それに見合うだけの自分の能力を開発できる貴重な機会にも出会えます。そして、このような時は人生においても限られた時期にのみ得られるものです。後に続く生徒の皆さんが高い志を持ちながらそれを貫くことを躊躇しているのなら、ぜひあじけづくことなくチャレンジしてもらいたいと願っています。



27・28年度大学別合格者数



国公立大学		28年度		27年度
大学名		新卒	旧卒	
帯広畜産	1			
岩手	1			
東北	1			1
山形	1			
筑波	2	1	1	
千葉	3			
電気通信	1			
東京外国语	2			1
東京学芸	1	1		
横浜国大		1	2	
富山	2		1	
金沢	9	2	5	
福井	7		1	
山梨	1			
信州	8	1	7	
静岡	20	4	7	
愛知教育	25			20
名古屋	23	5	25	
名古屋工業	11	3	12	
岐阜	9	3	18	
三重	9	2	8	
滋賀	3		6	
奈良女子	5		1	
鳥取	1			
島根		1		
岡山	4	1		

国公立大学		28年度		27年度
大学名		新卒	旧卒	
広島	1			4
山口		2		
佐賀	1			
長崎		1		
大分	1			
宮崎		1		
その他国立大学				26
国立大学合計	153	29	146	
会津	1			
高崎経済	2	1		
富山県立	1			
石川県立	1			
福井県立	1		1	
静岡県立	1	1	1	
静岡文化芸術	2		1	
愛知県立	17		14	
愛知県立芸術		1	2	
名古屋市立	10	1	10	
三重県立看護	2			
滋賀県立	3			
大阪市立		1		
大阪府立		1	2	
神戸市外国語	1			
その他公立大学			4	
公立大学合計	42	6	35	
国公立大学合計	195	35	181	

私立大学		28年度		27年度
大学名		新卒	旧卒	
青山学院	6	3	1	
慶應義塾	1	1	2	
中央	3	1	8	
東京理科	1	7	20	
法政	1		6	
明治	9	6	12	
立教	3		5	
早稲田		3	6	
愛知	115	4	117	
愛知学院	31	4	16	
愛知医科大学	4		4	
愛知淑徳	31		37	
金城学院	25		12	
堀山女学園	26		29	
中京	50	3	114	
中部	26	2	14	
豊田工業	1	4	10	
藤田保健衛生	28	1	36	
南山	91	5	147	
名城	116	25	95	
同志社	27	11	31	
立命館	48	20	72	
関西	4	8	7	
関西学院		4	8	
その他私立大学	163	43	215	
私立大学	810	155	1024	

部活動報告 [平成27年度]

◆全国大会出場◆

全国高等学校総合体育大会(滋賀県)

【登山部】 団体女子 27位

全国高等学校総合文化祭(滋賀県)

【文芸部】 短歌部門 細川 美樹

◆東海大会以上出場◆

東海高等学校剣道選抜大会

【剣道部】 男子団体

中部日本卓球選手権大会

【卓球部】 シングルス
磯貝 海斗・佐藤 優帆・可児 菜苗

東海卓球選手権大会

【卓球部】 シングルス・ダブルス
佐藤 優帆・可児 菜苗・磯貝 海斗・玉木 雅人

東海高等学校新人体育大会

【卓球部】 女子団体

[活躍同窓生]



名古屋市立大学
産科婦人科教授
杉浦真弓さん



今回は、2006年に全国初の女性産科婦人科教授に就任された杉浦真弓さんにお話を伺ってきました。先生はNHK「クローズアップ現代」に出演されたり、中日新聞夕刊「紙つぶて」にコラムを連載されるなど活躍されています。

★杉浦さんは、西高をいつ卒業されましたか。

1979年（昭和54年）3月卒業（31回）です。

★西高時代の思い出などをお聞かせください。

小学校からずっと水泳部に所属していました。高校では西三大会で、自由形で優勝しました。大した記録を残したわけではないですが、頑張った記憶は今でも役に立っています。西高祭も楽しかったですね。生涯の大好きな友達もできました。

◆県大会成績◆（入賞）

愛知県高等学校総合体育大会

【登山部】 団体女子	1位
団体男子	10位

愛知県高等学校新人体育大会

【水泳部】 男子200m個人メドレー	7位	野村 千頭
【登山部】 団体男子A	5位	
団体男子B	9位	
団体女子A	3位	
団体女子B	4位	
【剣道部】 女子個人	準優勝	稻垣 如乃
男子団体	3位	
【卓球部】 女子団体	6位	

※県大会出場部

【陸上競技部】 【体操部】 【水泳部】 【弓道部】

【剣道部】 【登山部】 【サッカーチーム】 【卓球部】

【バスケットボール部】 【ソフトテニス部】

【吹奏楽部】 【写真部】

★医師を目指したきっかけを教えてください。

幼少期は漫画家志望でしたが、同じキャラクターが2度と描けないのであきらめました。高校1年生の時は獣医さん希望でした。母が慢性疾患のために名古屋市立大学病院に紹介されて通院していました。その影響もあり、3年生の時に成績が上がって医学部に行くことにしました。ブラックジャックの影響もあったと思います。医師になって大儲けをして、島を買って、動物大国を作りたいと思っていました。現実は、大学教員では島は買えません。

★現在、ご研究されていることを教えてください。

流産・死産を繰り返す「不育症」の原因を解明するための研究を1990年から続けています。私たちの研究成果のひとつは医学雑誌『Lancet』に掲載されました。流産がショックでうつ病になったり、離婚するカップルもいるほど当事者にとって深刻な病気です。薬物を使わなくて多くの患者さんが出産できることも私たちの研究によって明らかになったので、不育症が当事者だけでなく周囲にも理解されることが重要です。しかし、妊娠経験者の20人に一人が不育症という高頻度にもかかわらず、不育症ほど認知されていません。平成27年4月には私たちの「不育症センター」が文部科学省「特色のある共同研究拠点」に認定されました。どんなにすごいことかと言いますが、ノーベル物理学賞梶田隆章先生の所属する東京大学宇宙線研究所も全国99拠点の一つです。流産の原因解明とともに不育症の広報も私の使命です。

【旧制西尾中学の思い出】



大正15年（1926）4月、旧制西尾中学校が開校した。5学年、定員は750、500、750と変化した。現在の西尾小学校の仮校舎で入学式が行われ、現在の西尾高校の位置に移転したのは昭和2年（1927）のことであった。

西尾高校創立百周年記念の特別企画として、昭和18年卒業の山下英一さん（13回生）と、昭和19年卒業の天野久さん（14回生）に在学当時のことをお聞きした。

★旧制西尾中学校はどんな学校でしたか？

山下：当時は、小学校から各種中等学校への進学率は15%くらいだったね。

天野：その通り、非常に少ない。中学校の教育は、経済的な理由で、なかなか受けられないのが実情でしたね。学費を払うだけの収入がなければ子弟を進学させられなかった。1ヶ月の授業料4円50銭、校友会費50銭は当時高額だったからね。（編集係：当時の1円は現在の3000円位）

山下：入試は3日間。国語・数学・理科・社会の試験と面接。他に体操の実技もあった。理科は一人ずつ教室に入って、生のイカの器官をピンセットで挟んで、その名称を問われた。ウサギ飛びなどをやらされた覚えがある。

天野：僕が入学した年から東組・中組・西組の3学級。4・5年の中組は就職希望者、東西組は上級学校進学組。

山下：座席は成績順だった。後ろの席が成績上位者。上級生の教室を覗くのは（成績が分かって）気が引けたよ。天野：落第制度があった。1科目でも30点以下だったり、平均点が60点ないと、追試験なしで即落第という厳しいものだった。毎年、5、6人くらい落第したかな。その他に師範学校や陸軍幼年学校に転じた人もいた。

山下：当時の教師は、今の県教委採用と違って文部省が採用したから、異動も全国規模で、多士済々。出身者が、栃木・埼玉・岐阜・三重・大阪・岡山・福岡等。地元はほんの少し。

天野：先生方が出身地の話をされ、世界が広がったね。西尾しか知らない僕たちにはカルチャーショックだったし、方言や風俗の違いとか、フレッシュに感じた。教育方針というか、当時の校風もとてもよかったです。美術や音楽などでも、幅の広い教養をつけてもらつたと思う。

★どんな学校生活でしたか？

天野：昭和17年に入ると戦争一色となり、軍事教練が

特に重視された。

山下：陸軍の配属将校がいて週2時間軍事教練があった。

天野：学校に三八式歩兵銃があって、ピカピカに磨いて、部品を分解して、また組み立てたり。射撃訓練もした。

山下：その歩兵銃を背負い、自転車で豊橋の高師原まで行き、兵舎で2泊の訓練。まあ、一種の戦争ごっこだ。

山下：全国区の先生方は教育熱心で個性的だったなあ。英語の磯部先生に「またやってこづか」と大阪弁で叱られた。

天野：教室にある竹刀で殴られた。午後の授業は生徒が集中力を欠くので、「総叩き」とか言ってたよ。

山下：石井という名物教頭は、古物の収集が趣味で授業の脱線が多かった。後年、絵馬や板碑の本を出版された。

天野：立派な趣味だった。専門は英語だったが、修身も教えていた。当時、修身科は校長が教頭が担当していた。

山下：黒の縄子の風呂敷を持った伊藤先生は東大出の国語。校門の出入りも直角に曲がるのでアダ名が「直角」。僕たちがそれを観察していると、ニタリと笑つたね。部活は、三武道のほか、陸上・軟庭・排球・籠球・蹴球・図書・園芸。他校との定期戦もあった。後に国防競技部までできて、三八式歩兵銃を肩に2000m走ったり、手榴弾を投げつつ前進、敵兵に見立てた藁人形を銃剣で刺す競技だった。僕は、岡崎中学での西三大会に出場した。

天野：よき兵隊を作る意味合いが強くなつたんだ。

山下：県下で一番の「体位劣等校」の汚名返上とばかり、授業後の運動を強制したり、弁当のおかずの検査までした時期もあった。部活をさぼろうとすれば、恐ろしい5年生の週番が校門で見張っていた。

天野：茶臼山や三ヶ根山へ徹夜で行軍したり、全校生徒が幸田・蒲郡・吉田と56km廻る強歩という行事があった。

山下：映画は禁止。女学校の運動会を見に行けば拳骨！

天野：僕たち14回生は、5年のうち、前半がリベラルで教養主義、後半は軍事主体の教育だったな。

二つの学校に行つたみたいだ。



「名鉄西尾・蒲郡線体感ウォーク」 にご支援を！

今年は12月20日(火)に第8回名鉄西尾・蒲郡線 体感ウォークを開催します。

ハルコンのご案内

西尾高校吹奏楽部は、演奏会「ハルコン」を毎年春休みに西尾文化会館で行っています。今年度で18回目を迎えるこの演奏会は、多くの他の部活動の生徒にも参加してもらい、生徒の手作りによる楽しいステージとなっています。今年度は平成29年3月26日(日)14:00~を予定しています。ぜひお越しください。

関東西中西高会の総会・懇親会

代表 中村民雄(昭和44年卒)

平成23年3月に起きた東日本大震災から5年、本年4月には熊本・大分でも地震があり、日本列島の地下で何か大きな変動が起こっているようですが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、このような防災意識が高まる中、今年の総会も公益財団法人三河郷友会学生会館において開催します。総会では、西高の現況や創立100周年の取り組み状況および会員各位の現況など、たっぷり4時間とつてありますので、お誘い合わせの上ご出席くださいますようご案内いたします。日程は下記の通りです。

日時：11月6日(日) 13:00~17:00
場所：公益財団法人三河郷友会学生会館食堂
連絡先：TEL 03-3946-0342(館長・酒井)
会費：4,000円



高校生活を懐かしみ、みんなで校歌合唱



現在、会員名簿を作成中(H28.11発行予定)ですが、近年、同窓生を騙る電話による詐欺が頻発しております。ご注意ください。

編集後記

西高創立100周年を契機として、同窓会が、母校の教育活動に対して「ヒトづくり」を軸とした支援を行うこととしました。具体的には、これまで以上に種々の奨学事業を展開していくものです。

特集記事として、前号の「西尾高女」に続いて、今回は「旧制西尾中学」についてお話を伺いました。戦争が学生生活までも大きく変質させていったことを知らされました。

【会報編集委員会委員一同】

西高初の海外修学旅行 マレーシアへ行ってきました

2年生は2班に分かれ、5月30日と5月31日に中部国際空港から出発し、シンガポール経由でマレーシアに到着しました。2日目は、今回の目玉であるB&Sプログラムによる現地の大学生と英語での異文化交流を体験しながらクアラルンプール市内を散策しました。3日目は港市国家として栄えた世界遺産マラッカを観光しました。はじめての海外修学旅行は4日間、緊張と感動の連続でした。



クアラルンプール 国家記念碑前にて

お知らせ

「知性と感性を磨く文化講演会」

1 講師及び演題 竹内 薫(サイエンス作家)
思い込みで判断しないための考え方

2 日時 11月7日(月) 13:30~15:00

3 場所 西尾高校体育馆

本校卒業生で参加を希望される場合は、8月31日までに必要事項(氏名、電話番号、卒業年度)を記入の上、往復ハガキまたはファックスにて下記までご連絡ください。ただし、会場の都合上、同窓生の定員50名になり次第締め切りますのでご容赦ください。

連絡先 同窓会事務局 新家正之

〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2

FAX 0563-54-6963

西高同窓会報「天地悠久」第27号

発行日 平成28年7月20日
発行 西尾高校同窓会報編集委員会

〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2

TEL〈0563〉57-2270

発行人 同窓会長 杉田明弘

印刷所 (資)三州印刷